**覚　書**

（貸主）○○○○（以下「甲」という。）と（借主）○○○○（以下「乙」という。）は、甲乙間の令和○年○月○日付金銭消費貸借契約（以下「原契約」という。）に関して以下の事情が発生したことから、次のとおり覚書（以下「本覚書」という。）を締結する。

【事情】

乙が甲に対して、原契約で定めた貸付金債務の弁済に代えて、絵画を引き渡すこととなった。

第１条（債務の確認）

甲及び乙は、原契約に基づいて発生した乙の債務が、元金○○円、利息金○○円の合計金○○円の債務であることを確認する。

第２条（代物弁済）

乙は、前条の債務の支払いに代えて、本日、下記絵画を、金○○円と評価して前条の債務に充当することとして、甲に譲渡した。

記

種　　類　○○○○

作　　者　○○○○

作 品 名　○○○○

制 作 年　○年

素　　材　紙

技　　法　油彩、パステルカラー

サ イ ズ　縦○㎝、横○㎝

作者の署名　あり

ただし、別紙原本の写しのとおり（原本の約○％に縮小）

第３条（所有権移転時期）

前条の絵画の所有権は、引渡時に乙から甲に移転する。

第４条（清算条項）

甲及び乙は、相手方に対するその余の請求をそれぞれ放棄し、本覚書に定めるほか、何らの債権債務がないことを相互に確認する。

本覚書締結の証として、本覚書２通を作成し、甲乙相互に署名又は記名・捺印のうえ、各１通を保有することとする。

令和　　年　　月　　日

甲　　　　　　　　　　　㊞

乙　　　　　　　　　　　㊞